



## 英語のジョーク宅配便

Vol. 134 October 29, 2012

### OUR MISSION STATEMENT

「人を知る最善の方法は、苦しい仕事を一緒にすることと、ジョークを言うこと」と言います。これを「英語で発信」というのが本紙の使命で、受動から能動への一歩です。「英語のジョークを楽しむ会」が活動領域をさらに広げようという試みです。地球の一体化が益々進む時代、「英語でジョークを」は、新しい意義を加えるでしょう。

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club=JLC) 代表・宮本倫好

- 本紙は、原則として、毎週月曜日に配信します。
- 執筆者は右の五名の本会会員です。相原悦夫、岡田茂富、田村公雄、土屋政雄、豊田一男

### □ ■ 本日のお届け品: Harlow? Not Harlot?

前回にひきつづき、ジョーク・コンテスト（これは第3回）に出したジョークです。まったく票が入りませんでしたが、埋もれさせるには実に惜しいので、再度紹介します。



Jean Harlow was at a dinner party, where Margot Asquith was also present. They were talking, and Jean kept on addressing the latter as MargoT (pronouncing the 'T'). Margot finally had enough and said, "No, Jean, the T is silent, as in Harlow."

#### 【和訳】

ジーン・ハーロウ、マーゴウ・アスクイスと話をしながら、相手の名前を何度も「マーゴット」と発音する。頭にきたマーゴウ、「ジーン、Tは発音しないの。あなたのハーロウと同じ」

#### 【笑いのツボ】

Jean Harlow は 1930 年代のセックスシンボル、Margot Asquith はイギリス首相だった Herbert Asquith の奥さんです。その矜持があり、女優ごときに名前を間違えられて傷ついたと想像します。ハーロウは上に示すとおり Harlow とつづりますが、マーゴウはそんなことを百も承知で、Harlot 扱いました。ジーン・ハーロウはどう反応したのでしょうか。

- 担当は、土屋政雄でした。